

地域との関わりを深め、愛着心を育てる

「啐啄同時」第13号で「キャリア教育を基盤とした学校づくり」について説明しました。その中でもふれましたが、将来の高城町・都城市を担う持続可能な社会の創り手となる子どもたちを育成することは、学校だけでは限界があります。子どもたちの成長にどれだけ地域の力を関わらせることができるかが重要です。そこで、「**生徒を積極的に地域に出す**」「**地域人材を活用する**」「**地域の人々を学校に招く**」を基本に地域の力を学校の教育活動に生かすことを考えています。

(1) 生徒を積極的に地域に出す

地域を生徒たちの学びの場と捉え、積極的に地域の活動に参加する機会があったようですが、ここ数年はコロナ禍の影響もありなかなか思い切った活動ができていません。「職場体験学習」「地域行事へのボランティア参加」など、地域を舞台に学習したり、地域の人たちと交流したりして、多くの学びと経験を体得できる機会を増やしていければと考えています。

(2) 地域人材を活用する

「キャリア教育を基盤とした学校づくり」を推進するにあたり、専門的な知識や技術を持った地域の方々を講師として招いています。1年生「未来 COMPASS」では、高城町内を中心に活躍されている7名の方にお越しいただき、7週間にわたって高城町の魅力などについて講話をしていただいています。2年生「職業講話」では、6社の企業に働くことの意義や望ましい職業観について講話をしていただきました。3年生「ワーキングスタディ」では、専門学校8校から4校を選んで講話・体験を実施しました。専門的な知識や技術を持った人の指導を受けることによって、知識や技能の習熟が図れるだけでなく、講師の仕事への取組や生きることへの誇り、地域を愛する熱意などから、生徒たちが学ぶものは大変大きいのではないかと考えています。



(3) 地域の人々を学校に招く

学校の教育活動のさまざまな場面に地域の方々をお招きして、生徒、教職員、PTA、地域の方々が一緒になって活動することを大切にしたいと考えています。このような活動は地域の方々からも共感を呼び、地域としての一体感や充実感が増幅されるものと考えています。今年は、「学校運営協議会」や「民生委員訪問」ですが、これらの活動の積み重ねが、地域への愛着心や誇りを形成することに大きく貢献するのではないかと考えています。